

# 宮古市地域公共交通利便増進実施計画(概要)

- 田老地区を運行する広域バス路線ネットワークについて、**利用状況に応じた重複区間の分割・集約**と**新たな乗継拠点（道の駅）での地域バス（コミュニティバス）との接続強化**により、運行の効率化と利便性向上を図る。（事業①）
- 公共交通空白地において、**地域主体の自家用有償旅客運送の新規導入**と**地域間幹線系統との接続**により利便性向上を図る。（事業②）

## 事業の内容

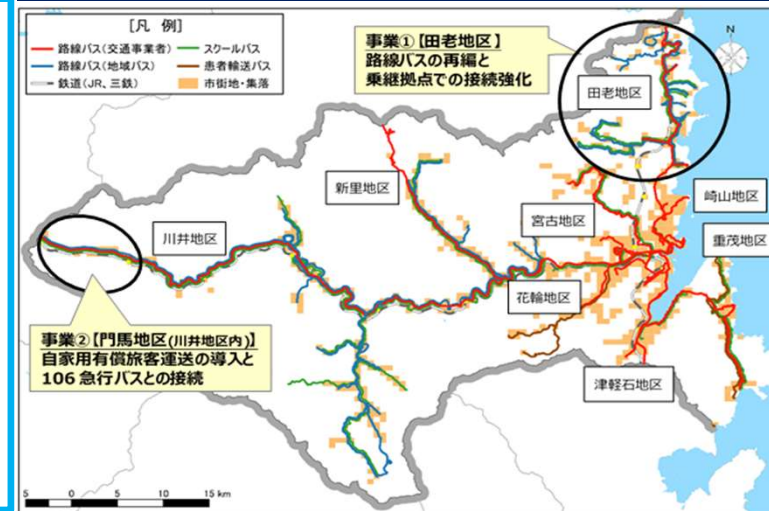
### 事業①（田老地区）

- ・ 岩泉町と接続する長大路線の小本線について、区間により利用状況に大きな差異があるため、「道の駅たろう」を起点に路線を分割し、利用状況に応じた便数の設定により効率化を図る。
- ・ 「宮古駅前～三王三丁目」の区間については、3路線（田老線2路線及び小本線）が並行しており非効率な運行となっていたことから、路線を田老線2路線に集約し効率化を図る。
- ・ 「道の駅たろう」を乗継拠点として設定し、再編する路線バスと市が運営するコミュニティバス（田老地域バス）との接続を強化する。

### 事業②（門馬地区）

- ・ 公共交通空白地域における無償による共助送迎の実証を踏まえ、地域住民が運行主体となる自家用有償旅客運送（門馬地域共助型交通）を新規導入し、持続的な地域内交通の構築を図る。
- ・ 「黒沢バス停」を乗継拠点として設定し、地域内交通と106急行バス（幹線）を接続させる。

## 事業を実施する地域



## 事業の効果

### 事業①（田老地区）

- ・ 路線再編により運行の効率性が向上することで、**持続的な運行を確保**できる。
- ・ 新たな乗継拠点を設定することで、路線バスと地域バスの乗継ぎが便利になり、**田老地区内と宮古市中心部の間の交通の利便性が向上**する。

### 事業②（門馬地区）

- ・ 新たに自家用有償旅客運送を導入することで地域内の**持続的な移動手段を確保**できる。
- ・ 乗継拠点で106急行バスに接続することで、**門馬地区内と宮古市中心部の移動の利便性が向上**する。

### 事業①田老地区再編



### 事業②門馬地区再編



- ・ 作成自治体 宮古市
- ・ 事業実施区域 宮古市全域
- ・ 事業実施予定期間 R6年3月～R12年3月